

タイトル『汐製菓会社の新 作56マカロン』

【登場人物】

汐（しお）…30代。汐製菓会社社長。明るく
元気で、とにかく「面白い」を追求する。

塩田（しおだ）…30代。汐の秘書。真面目で
几帳面だが、汐の無茶なアイデアに常に悩ま
される。大のお菓子好きで、甘いものには目
がない。

【あらすじ】

汐製菓会社の新作菓子企画会議。社長の
汐は新しい「マカロン」の味を考え中。次々と
繰り出される奇抜なアイデアに、秘書の塩田
は眉をひそめる。やがて汐は「ドリアン味のマ

カロン」を提案！予想外すぎる味に、社内外の反応はどうなるのか…？

第一幕…始まりはいつも突然

（シーン…会議室。テーブルには様々なマカロンの試作品が並ぶ。汐は無邪気に試食をしている。）

汐

「よし！新作マカロンの番目！これだな！」
（試作品をばくり）

塩田

「今回の新作、マカロンーですが、まだ一番目なので、そろそろ落ち着いたものに…」
（真面目な表情でメモ帳を手取る）

汐

「落ち着く？いやいや！俺たち、汐製菓は『面白きことも無き世を面白く』がモットー

だぞ？ 平凡な味なんてダメだ！ 世界中を驚かせるようなインパクトを！ なんかこう…びっくりする味を！」

塩田

「で、でも…前回の“唐辛子味のマカロン”もお客様の反応が…」

（資料を広げながら）

汐

「そうだ！ それで思いついたんだ、ドリアン味だ！」

塩田

「ド…ドリアン？ あの…あのドリアンですか？」

（顔をしかめる）

汐

「そうだ！ 臭いけど、そこがいい！ 香りで遠くからお客様を引き寄せ、そして一口で虜にする！ どうだ、天才的だろう？」

塩田

「うう…：天才的かどうかは…」

(言葉を詰まらせながら)

第二幕…開発現場の大混乱

(シーン2…試作室。ドリアンの山と研究員たちが困惑している様子。)

研究員A

「社長、本当にドリアンでマカロンを作るんですか？」

汐

「もちろん！革命だぞ、革命！ドリアンが日本のスイーツを席巻する日がある！」

研究員B

「でも、匂いが…。この匂いをどうやって抑えるかが課題です…」

汐

「いやいや、抑えちゃダメだろう！ドリアンの個性をそのまま生かすんだ！」

塩田（心の声）

「これは…本当に大丈夫なんでしょうか

…？」

（試作は進むが、あまりの臭さに研究員たちが次々と倒れていく。）

第三幕…試食会、そして衝撃のリアクション

（シーン③…社内試食会。社員たちが新作マカロンを試食する。）

社員A

「すごい匂いだな…。でも社長の考えた新作だから、食べないわけには…」

（マカロンを口に運ぶが、すぐに涙目になる）

社員 田

「ドリアンってこんなに強烈だったんだ…。でも意外と味は…う、ううっ…」

（言葉にならない）

汐

「どうだ！ 美味いだろう！」

塩田

「社長…皆さん、涙目になってますが…」

汐

「これは感動の涙だ！ 成功間違いなし！」

社員 〇

「これ、世界に通じる…かもしれないけど…国内ではどうなんだろう？」

（おそろおそろ言う）

第四幕…試食会の国内外のお客様の反応

【シーン4-1：国内のお客様】

（試食が始まり、まずは国内のお客様がドリ
アンマカロンを口にする。）

お客様V（中年女性）

「まあ、マカロンって可愛くて大好きなんです
けど…ちょっと匂いが…」

（顔をしかめながら口に運ぶ）

お客様B（若い男性）

「おっ、見た目は普通のマカロンと変わらない
な。どれどれ…うわっ、すごい匂い！でも、チャ
レンジしてみるか！」

（勇気を出して一口食べる）

お客様A

「んん？意外と…美味しい…かも…いや、でも
やっぱり臭い！…どうしましょう、これは…！」

（混乱しながらももう一口食べる）

お客様〇(大学生風)

「これ、SNSにアップしたらバズりそうだな！

でも…匂いでフォロワーが減るかもな…！」

(スマホで写真を撮りながら)

【シーン4-2:海外のお客様】

(続いて、海外からの参加者が試食を開始。)

フランス人女性

「マカロンはフランスの誇り。だからこの日本

風味、興味深いわね。でも、この匂いは…驚い

たわ！」

(鼻をつまみながらも一口食べる)

フランス人女性

「おお、意外とクリーミーで、ドリアンの独特

な香りがクセになるかも？うん、悪くないわ

ね。でも…やっぱりこれはデザート向きじゃない

わ！」

（笑いながら）

アメリカ人男性

「YouTubianって聞いたことあるけど、実物は初めてだぜ！どんな味がするんだ？」

（興味津々で匂いに驚きつつも一口かじる）

アメリカ人男性

「Holy…これはすごい！匂いは爆弾だけど、味は…思ったより悪くない。むしろ美味しいかも？」

（顔をしかめつつも、もう一口食べる）

アメリカ人男性

「これは話題性抜群だぜ、YouTubeでレビューしたら視聴回数爆上がり間違いなし！」
（スマホで動画撮影を開始）

【シーン4-3：混乱の中での試食会】

（試食会場全体が匂いとリアクションの渦に巻き込まれ、歓声や驚き、時には悲鳴が飛び交う。）

外国人 ▶

「こんな強烈なマカロン、初めてだ！記憶に残ることは間違いないね！」

外国人 ◻

「匂いで入場料取れるレベルだな…でも、食べなくなる不思議な魅力がある！」

塩田

「社長、これはどう見ても失敗なんじゃ…」

（会場を見渡し、不安げに）

汐

「いやいや、塩田。見てみる、

全員笑顔じゃないか。楽しんでるんだよ！」

（自信満々）

塩田

「笑顔というか…苦笑いに見えますけど…」

（不安げに）

汐

「話題になればそれでいいんだ！どんな反応でも注目されれば勝ちだよ！」

（ポジティブに）

第五幕…さらなる挑戦

（シーン5：試食会が終わり、社内に戻る汐と

塩田。試食会での反応に塩田はまだ戸惑いが隠せない。）

塩田

「社長、試食会は…まあ、ある意味で大成功でした。SNSでもたくさん話題になってます。

でも、ほとんどが『匂いが強烈』っていうコメン

トで、賛否がかなり分かれてます。」
(SNSの投稿を見ながら報告)

汐

「賛否両論でいいんだ！それだけ話題になっ
てるってことだろ？それに、ドリアンマカロンは
世界で初めてだぞ！それだけで十分だ。」
(自信たっぷり)

塩田

「でも次はもう少し…控えめな味にしてもいい
んじゃないですか？」

(恐る恐る提案)

汐

「控えめだって？つまらない！次はもっと攻め
るぞ！次なる新作は…“納豆味のマカロン”
だ！」

(目を輝かせる)

塩田

「な、納豆ですか！？また匂いが…また大騒

ぎになりそうな…」

（頭を抱える）

汐

「面白くなければお菓子じゃないだろ！新しい味への挑戦を止めちゃいけない。よし、塩

田！今から納豆を調達してこい！」

（意気揚々と）

塩田

「はあ…。また大変なことになりそうです…」

（小さなため息）

エピソード：挑戦は終わらない

（シーンの：オフィスで笑顔の汐とため息をつく

塩田。次なる挑戦へと気持ちを新たにす

汐。）

ナレーション

「そして汐製菓の挑戦は続く。奇抜なアイデ

アとともに、世界中を驚かせるお菓子を作り
続ける汐と、それを支える塩田。果たして、
次の納豆味のマカロンは成功するのか…？」

汐

「さあ、次は納豆マカロンだ！世界を驚かせ
るぞ！」

塩田

「また…挑戦の始まりですね…」

（苦笑いを浮かべながら）

（エンドロールが流れる中、試作の納豆マカロ
ンを前に、汐が満面の笑みを浮かべるシーンで
幕を閉じる。）

【終】